



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 6,631人
男子 3,248人
女子 3,383人
世帯数 1,924戸
(7年2月末現在)

対話と交流 ひと皮むけた市民大学講座



子供たちの未来のために今……。

第一講では太平洋戦争当時の満蒙開拓団に参加した少年の見たもの、その上に降り掛かった苦難を綴ったアニメーション映画「蒼い記憶」を鑑賞しました。今年には戦後五十年を迎え、戦争を知らない世代も多くなりましたが、命の尊さや平和の大切さを再認識するよい機会となりました。

参加者の中には自分の兄弟が実際に満蒙開拓団に加わっていた人もいて、涙を流しながら見ている姿が印象的でした。

第二講はドキュメント映画「痴呆性老人の世界」を見ました。ある施設に収容されている痴呆性老人の姿を通して一般の人たちにもその様子を理解してもらい、又この問題に直面している



参加者全員で手作りぎょうざ

第三講では意見交換会「今、教育の現場で子供たちは」と題して、パネラーに駒ヶ根病院リハビリ室長の小本曾計男さんをお願いして行なわれました。

まず現代の子供の抱えている問題、その背景にある現代社会のひずみなどをパネラーより聴きました。その中で「現在の小学生は学ぶことが多く、詰め込みだけで自分で考えられない子供が多くなっている、親も的確な助言を与えられないのではないのか」「現代社会は皆忙しすぎてゆとりを考へることが、少し待ってやるということが出来なくなっている」というお話でした。

更に、親である皆さんにしてほしいこととして、
◎心の満足感(誉めること・認めること)

鉛筆がついて

今年度、飯田市の成人式実行委員会では、「はたち」のイメージソングの歌詞の募集を行いました。集まった一〇九点の中から、幼い頃から夢を持っていた好きな真代さんは、「君はJリーグ観戦が好きで、

はたたちに なつたつもりで

時又 村松 真代さん

「お母さんと共に、それぞれ気楽な気持ちで応募しました。書類選考で、十作品に選ばれただけでも驚いたのに、最優秀に選ばれてびっくりしたけど恥ずかしかった」そんな作品のタイトルは「夢」

「家族で福井県まで試合を見に行ってきた」と話してくれました。今回の受賞で、学校では吹奏楽部に入っていた、練習で毎日夕方六時頃でないとは帰宅できないが、「来年中学三年生にな



緊張した表彰式

年度末を迎え 各委員会この一年

「知りあって、触れあって、学びあおう」を基本テーマとした本年度の公民館事業が終了しました。各委員長が今年度の活動を振り返って見ました。

「家族で福井県まで試合を見に行ってきた」と話してくれました。今回の受賞で、学校では吹奏楽部に入っていた、練習で毎日夕方六時頃でないとは帰宅できないが、「来年中学三年生にな

【文化委員会】中島武雄文化委員会では、学芸機会と同時に、知り合う機会、交流する機会を地区民に提供したいと考え、事業を展開してまいりました。

【体育委員会】田中 實は、当初の計画に従って、運動会、各種スポーツ大会、初めての試みであった軽スポーツフェスティバルを行って来ました。

【民俗資料保存委員会】今村 文一昭和四十八年、当時の文

この世で一番怖いもの。「地震・雷・火事・親父」昔の人は本当にうまい事を言ったものだ、つくづく感心させられる。

一月十七日の早朝、体が揺れて目が覚めたあの日、飯田では、「なんだ、地震か」で済んでしまったが、神戸市や淡路島では、とても大変な事が起きていた。

あの日からもう二ヶ月余が経過している今も、避難所暮らしの人々が多勢居るといふのに、遠くに住む私達は、義援金を送る事くらいしか出来ないでいる。

ちなみに、竜丘地区でも八十万円余の義援金が集まり、被災地へ送っている。

しかし、震災に遭った人々が、今まで通りに、生活出来る様になるのは、いつの事だろう。他に何か、私達に出来る事は無いのだろうか。

十五年ばかり前だったか東海大地震の危険が指摘され、飯田市もその危険区域に指定され、ずいぶん騒がれたが、その話題もすっかり影をひそめている。

その頃、小学生だった私は、自分の宝物を防災リュックサックへ一杯詰め込んだものだった。あのリュックサックはどこへ行ってしまったのだろう。

今回の阪神大地震で、最近、東海大地震の話が持ち上がり、行政で対策が見直され始めています。私達自身も、自身に備え、家族や隣近所、竜丘地区で助け合える事等、確認し準備しておく事が大切だ。

都会では防災グッズが震災直後に良く売れたそうだが、その時は大騒ぎするが、すぐに忘れるのが人間の悪い癖。今回の震災の恐ろしさを忘れてはいけません。

新公民館について 熱く語った放談会

阪神大震災の悪夢も醒めぬ一月二十一日、竜丘公民館において新春放談会が開催され、公民館OBを中心に三〇数名の出席者により公民館建設について意見が交わされた。

今年の新春放談会は例年と趣向を変え、公民館建設について、平成になってからの公民館OBを中心に開催された。年度当初より公民館OB会を開催したかどうかという館長の考えがあり、懸案の新公民館建設に向けての活動が活発に行われるようになり、OBの意見を聞きたいとのことから開催された。



開会、関係役員あいさつと続き、意見交換となった。発表する内容を自分ですらめめるため、予め受け付けで配布された、スピーチ控への用紙にそれぞれの考えを記入し出席者全員が意見を発表した。

公民館建設について、①どんな公民館を目指したら良いでしょうか②どんな設備及び施設があればよいでしょうか③その他の三点について意見が交換された。まず、主催者の文化委員長の口切りによりそれぞれ意見を発表した。

また、時又地区では下水道の積み立てもしており、負担が大変という意見や、現施設で良いとの意見もありました。また、市議会では次は竜丘と答弁があったが、時期については、明確にならなかつたので、地元の盛り上がりが必要であるので、もっとPRしなければとの意見もありました。

放談会と言ったこともあり、いろいろな意見が出たが、自分たちの施設ということでは地区民全員が真剣に考える時期に来ているのではなからうか。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の望む声もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の望む声もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の望む声もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の望む声もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の望む声もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の望む声もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の望む声もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の望む声もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

設備・施設については、冷暖房施設、図書館・民俗資料室・自由画展室・古墳やギフ蝶の展示室などの竜丘の特色を出した施設の要望がありました。また、福祉関連では身障者に配慮した設備を望む声もありました。更に現公民館が手狭なため、大ホールや大きな駐車場の望む声もあり、これからの情報化社会に向けた情報の収集・発信のための設備をとの声もありました。

市農業祭に向け 実行委員会始まる

平成七年十一月十二日に、地場産業センターで行なわれる飯田市農業祭で、竜丘地区紹介が行なわれます。その実行委員会が、「竜丘地区農業地域マネージメント事業推進会議（会長・下平道啓農業委員）」の主催で、二月二日より始まりました。

実行委員会では「みんなの祭」とする為の取り組み方や紹介する内容について、また地区紹介のテーマも考えていく事となりました。地区紹介では、駄料の鈴岡大鼓の発表、桐林の人形

の頭、時又の初牛・こだま様、長野原のお日待ち祭、上川路菊の会・こだま様・人形の頭などの展示、モデル集落の発表、古墳の立体模型の展示、農産物・加工品の販売など多彩な出展

が、計画・検討されています。水河期から生き続けてきた春の女神ギフチョウ。そして古墳の多い竜丘地区は古代から豊かで暮らしてきた地域だったのでないでしょうか。

飯田市農業祭は、農業の重要性や活性化を図ることが目的ですが、その中の地区紹介では、豊かな自然と農業、竜丘の昔・現在・未来など、他地区に誇れる竜丘をアピールしましょう。

飯田市農業祭は、農業の重要性や活性化を図ることが目的ですが、その中の地区紹介では、豊かな自然と農業、竜丘の昔・現在・未来など、他地区に誇れる竜丘をアピールしましょう。



昨年の市農業祭の風景

公民館建設研究進む 昨年末に公民館建設についてのアンケートの結果を館報の号外としてお知らせしましたが、今年に入ってから、一月には委員会の部会として、市などの渉外や委員会全般に関する部会とを扱う総務部会（十八名）用地に関する土地対策部会（十四名）建物・備品などに関する施設部会（十七名）資金・寄付に関する財務部会（十五名）の四部会が構成され、各正副部長や部会としての活動の進め方が確認されました。

また、三月一日には、山本と松尾の公民館の視察を行いました。両館ともそれぞれ特徴ある施設で、視察参加者は熱心に説明に聞き入っていました。視察項目は、用地・設計・設備などの面や、地区の合意形成や資金の面など多岐にわたりましたが、特に用地と資

金の面に質問が多く集まりました。視察後の反省会では「両館とも参考にすべき点は多いが、あくまで竜丘にふさわしい施設とする」「高齢者や身障者の方に使いやすい施設とすることが必要」などの意見が出されました。今後、この視察結果を基に、更に研究を続けていくことになっています。

去る三月五日、鼎中体育館、鼎体育館に於いて、Cブロック（竜丘・松尾・上久堅・下久堅・鼎）冬季体育大会が開催されました。当日早朝から始められた試合では、各会場とも外の寒さとは対照的に、熱気のある試合が繰り広げられた。竜丘からは、代表の長野原・時又が出場し、大きな声援の中、随所好プレー・珍プレーを見せてくれた。惜しくも、優勝は逃したものの女性の活躍が、特に目を引き、竜丘の女性のたくましさを感じることができた。

試合結果は次の通り
△ママさんバレー▽
一位・鼎、二位・長野原
三位・下久堅
△男子ソフトバレー▽
一位・下久堅、二位・上久堅、三位・松尾
△女子ソフトバレー▽
一位・下久堅、二位・時又、三位・松尾

公民館建設研究進む

昨年末に公民館建設についてのアンケートの結果を館報の号外としてお知らせしましたが、今年に入ってから、一月には委員会の部会として、市などの渉外や委員会全般に関する部会とを扱う総務部会（十八名）用地に関する土地対策部会（十四名）建物・備品などに関する施設部会（十七名）資金・寄付に関する財務部会（十五名）の四部会が構成され、各正副部長や部会としての活動の進め方が確認されました。

また、三月一日には、山本と松尾の公民館の視察を行いました。両館ともそれぞれ特徴ある施設で、視察参加者は熱心に説明に聞き入っていました。視察項目は、用地・設計・設備などの面や、地区の合意形成や資金の面など多岐にわたりましたが、特に用地と資

金の面に質問が多く集まりました。視察後の反省会では「両館とも参考にすべき点は多いが、あくまで竜丘にふさわしい施設とする」「高齢者や身障者の方に使いやすい施設とすることが必要」などの意見が出されました。今後、この視察結果を基に、更に研究を続けていくことになっています。

去る三月五日、鼎中体育館、鼎体育館に於いて、Cブロック（竜丘・松尾・上久堅・下久堅・鼎）冬季体育大会が開催されました。当日早朝から始められた試合では、各会場とも外の寒さとは対照的に、熱気のある試合が繰り広げられた。竜丘からは、代表の長野原・時又が出場し、大きな声援の中、随所好プレー・珍プレーを見せてくれた。惜しくも、優勝は逃したものの女性の活躍が、特に目を引き、竜丘の女性のたくましさを感じることができた。

試合結果は次の通り
△ママさんバレー▽
一位・鼎、二位・長野原
三位・下久堅
△男子ソフトバレー▽
一位・下久堅、二位・上久堅、三位・松尾
△女子ソフトバレー▽
一位・下久堅、二位・時又、三位・松尾

今注目されています “念通寺断層”

阪神大震災を切っ掛けに、活断層への注目がわかに高まってきた折、我竜丘地区に属する「念通寺断層」が広く一般に知られた。活断層とは生きてる断層で、近い将来地震を引き起こす可能性があるらしい。又此度の震災直後に開かれた「地震予知連絡会」で、現在日本にある断層帯の中で最も危険な五箇所が発表され、その中に「伊那谷断層帯」が含まれていたから、注目を浴びた。

さて問題の「念通寺断層」とは、伊那谷断層帯の一部で八幡山から、松尾城址・鈴岡城址・念通寺山・白井原を経て、久米川までの小高地域の山すそにあたる。自然環境の保護は、地震予知と密接な関係があるらしい。今回地震の前兆として昼神温泉の湯温上昇や、諏訪湖周辺の地下水量増加など残念ながら後になって解ってきた。我々人間が自然と離れて生活する様にな

り、自然の音が聞こえなかつた。此度の講座には実に多くの方が参加があったが、これは一過性のものに終わらせる事なく、天災を人災にしない為の様々な対策を、行政レベルで進めたいものである。

念通寺断層の露頭面（点線部分が断層面）

